

第一五九回 企画展

酒田の城とその時代展



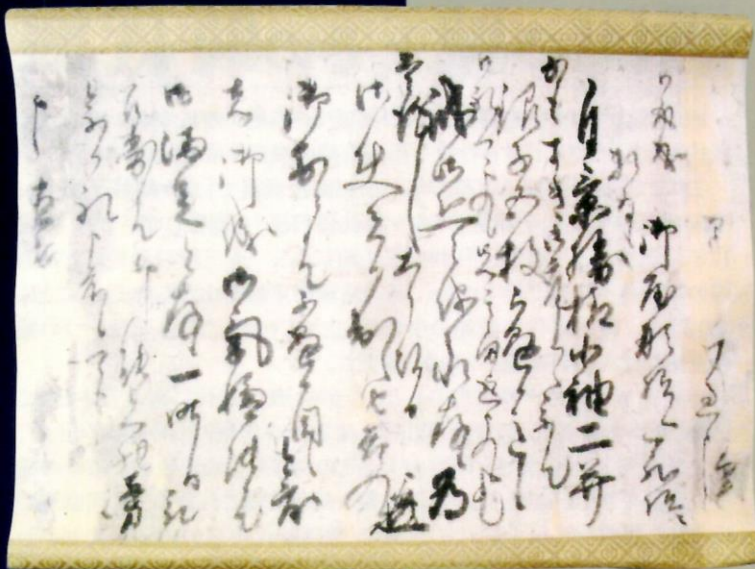
▶ 亀ヶ崎城跡出土木簡(山形県埋蔵文化財センター)

右側

なまり玉弐千入 百分

左側

慶五 七月三日 志駄修理亮殿



◀ 来次氏秀の書状
(個人蔵)

平成21年

10月17日(土)

~12月6日(日) 期間中無休

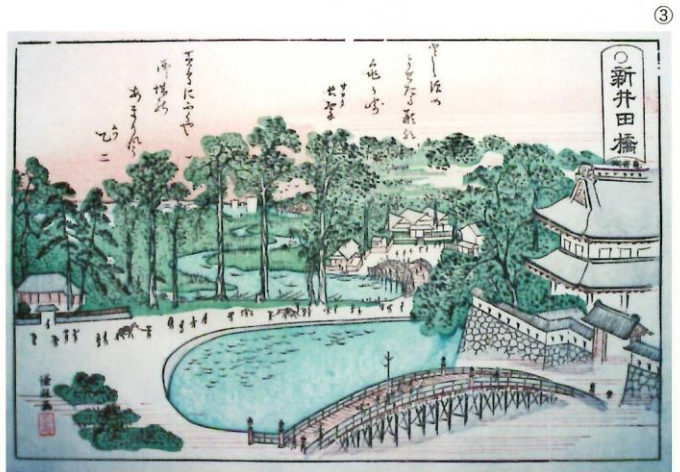
酒田市立資料館



①



②



③



④

- ① 亀ヶ崎城跡出土漆器天目台
- ② 朝日山城主 池田讃岐守盛周所用の具足
- ③ 木版『酒田十景』より『新井田橋』(亀ヶ崎城)
- ④ 観音寺城縄張図

ギャラリートーク開催 のお知らせ

テーマ 酒田の城とその時代

日時 平成21年 **10月25日(日)**
午後2時～3時

講師 **小松 良博氏**
(山形県城郭研究会会員)

場所 **酒田市立資料館**

定員 **20名**

料金 **聴講無料(但し入館料は必要です)**

申込 **資料館まで電話連絡**

☎ **0234-24-6544**
企画展初日(10月17日)より受付開始

酒田の城とその時代展

酒田にはかつて庄内藩酒井氏の支城である亀ヶ崎城があり、幕末まで城代を置き、酒田における行政や治安維持の機能を果たしていました。

これまで、資料館では昭和57年の第15回企画展で「亀ヶ崎城下展」を、平成18年の第66回企画展で「亀ヶ崎城資料展」を開催しています。平成17年に酒田市と八幡町、平田町、松山町による一市三町の合併により、酒田の城は亀ヶ崎城だけではなく、周辺地域の平城や山城も含まれることになりました。戦国時代の激動の中で興亡していった、これら一つ一つの城の歴史には大変興味深いものがあります。

本企画展では亀ヶ崎城を中心としながら、戦国時代に国人領主として割拠していた砂越氏、留守氏、池田氏、米次氏の居城についても取り上げ、最上義光や上杉景勝などの有力大名との関係も含めた複雑な当時の様子を理解できるようにしました。また、亀ヶ崎城ではこれまでの発掘調査で出土した貴重な資料を展示することで、戦国時代中期の1500年代初めから江戸初期、最上家が改易され酒井家が入部する1600年代初めにかけての緊迫した時代背景や城内生活の様子が窺える企画展になっています。

酒田市立資料館

酒田市一番町8番16号 TEL 0234-24-6544
e-mail:sakata-city-museum@fork.ocn.ne.jp

開催時間 午前9時～午後4時30分
休館日 期間中無休
料金 一般**100円** 小学生～大学生**50円**
(土・日曜日は小・中学生無料)

次回企画展

『昔の学校』展(その2)

平成21年12月10日(木)
～平成22年3月7日(日)